

生芸として最後の卒業制作展

郡山女子大学短期大学部生活芸術科

主任 浅野 章

昭和 30 年 4 月、生活芸術科は“美の探求と豊かで潤いのある生活を創造していく”ことを目的として誕生し、卒業生はすでに 1,780 名を超えています。

「生芸」という愛称で親しまれ 60 年以上にわたり地域と共に歩み、時代の空気を受けて先を行き、その精神を受け継いでまいりました。しかしながら現代という時代の大きなうねりは予想を超える速さで進み、その波は生芸にも押し寄せ、社会の要望に応えるための変革を迫られることとなりました。

そして昨年 4 月より生活芸術科は、郡山女子大学短期大学部既存の家政科福祉情報専攻、文化学科との統合により「地域創成学科」として生まれ変わりました。

新学科は変化する地域社会において創造的継続的に貢献できる人材の育成を目指しており、その中でも生芸の進化形ともいえるアート&デザイン系は、引き続き感性豊かな美術・デザイン分野の教育を推し進め、その集大成としての卒業制作展は今後も続きます。

皆様におかれましてはご多用中、誠に恐縮ではございますが情熱とパワーに満ちた、生芸としては最後の卒業制作展を是非ともご高覧賜わりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、長い間、陰に陽に生活芸術科を応援していただき言い尽くせぬ程のご恩を感じております。誠にありがとうございました。